

平成 28 年度座談会「町長と語ろうまちづくり」(向原地区)

開催日時	平成 28 年 11 月 24 日 (木) 午後 7 時から午後 9 時 00 分	天気	くもり
場所	向原児童館		
町民参加者	男 10 人 女 0 人 (60 代以上 10 人)		
町出席者	町長、副町長、教育長、参事兼企画財政課長、総務防災課長、参事兼農林課長、上下水道課長、新東名対策室長、定住対策課長、事務局 2 人		

出席者から出された主な意見や提案

《テーマ：災害発生時における町の危機管理の対応について》

○本村地区では昨年、箱根にある地震研究所の先生に講演をしていただいた。その時に、災害が起きた時にとにかく生きていなければ次の段階に進むことはできないという話があった。よく 3 日 3 晩生き抜くということが言われるがそれをアピールできる方策が何かないか。例えば町全体としての標語などを作って町民に植え付ける方策が必要だと思う。

○避難所の宿泊訓練を町が主導で行ってはどうか。

○各家庭にヘルメットを配布することはできないか。

○町の防災無線が聞きづらい時があるが、他の方法で情報を入手しようとしても停電をしてしまうとテレビも映らないしホームページを見ることもできないと思う。そのような時はどこから情報を入手したら良いのか。各家庭に受信機を配布する考えはあるのか。

○向原地区には沢が 3 つあるが、大雨の時に被害が出る前に確認できるようにカメラを設置し、町で管理するというような中長期的な考えはあるのか。

○避難場所が山北中学校となっていて、町の職員が鍵を開けることになると思うが、避難した際に町の職員よりも先に到着した場合、もし寒い雨の降っている日の災害であれば肺炎等になってしまうおそれもあるので防災倉庫の鍵を渡してもらえないか。

○最近高齢者による自動車事故が多発しているが、山北町は車がないと生活ができない。路線バスや循環バスが今も走ってはいるが、より地域の中に踏み込んだ交通・路線が検討できないか。